

恒温槽付フィルムインパクトテスター

Film Impact Tester With Thermostatic Chamber

用 途

本機は、フィルムや包装紙などの薄い材料を半球状ハンマーにて突き刺す衝撃破裂試験を、恒温槽内で行うよう設計・製作されたオリジナル製品です。



型式 R

特 長

1. 恒温槽内は、-35°C～+100°Cの任意温度で試験ができます。
温度制御方法として、冷凍機+ヒーター(型式R)と炭酸ガス+ヒーター(型式C)の2種類があります。
2. 試験方法は振子式衝撃試験で、損失エネルギーを測定できます。
3. 衝撃秤量(1.5J, 3.0J)はウエイトの付け替えで簡単に変更できます。
4. 衝撃球面は、半球面の直径が25.4mm, 12.7mmの2種類があり、ネジ式で簡単に変更できます。
5. 表示部はタッチパネル式で、振上角度、損失エネルギーが表示されます。
6. 試料片は、①試験片クランプ部に張って固定する。②試験片巻き付けロールに巻いて槽内に置き
試験後、槽の外にある試験片巻き取りロールで順次巻き取る。以上の2通りです。
7. 標準装備の小型プリンターにて、測定値がプリントできます。
8. 過温防止装置を本体に内蔵しており、槽内温度が設定値以上になれば通電を遮断します。

仕 様

型 式	R	C
容 量	0~1.5J、0~3.0J (衝撃秤量 1.5J、3.0J)	
表 示	衝撃値・エネルギーをデジタル表示	
温 度 範 囲		-35°C~ +100°C
温度制御方法	冷凍機+ヒーター (水冷、空冷)	炭酸ガス+ヒーター PID制御 デジタル温度調節器
試料片寸法	ロール:幅80~100mm×試料片巻き取り時の最大ロール径40mm (巻き取り軸径:30mm)	シート:幅80~100mm、奥行き長さ 100mm以上
試料片締め付け		アーチャック方式 エアー圧力 0.3~0.5MPa エアー量 0.5リットル/回
衝撃部		2種類 ・球面の直径12.7mm (真鍮製) ・球面の直径25.4mm (アルミ製)
収納箱		1箱 ・衝撃ヘッド 12.7mm、25.4mm 各1ヶ ・容量変更ウエイト 1組
安全対策		オーバーヒート過温防止装置 (本体内蔵)
小型プリンター 型式 PS-A1		試験結果を印字 本体のデジタル画面上のデータクリアを押すと、 小型プリンターに出力します。同時に画面のデータも消えます。
電 源	3相 AC200V 50/60Hz 20A	単相 AC100V 50/60Hz 15A
機体寸法	W1300×D800×H1750mm	W1000×D650×H800mm
質 量	約350kg	約150kg
オプション	内 容	
共通取り込みソフト (フィルムインパクトテスタ用) 型式 EX-2FI	Excelにデータを転送 9-25pinRS-232C・USB変換ケーブル付 ※ExcelがインストールされているPCを別途ご用意下さい。	

関連製品

No.195 フィルムインパクトテスタ No.195 フィルムインパクトテスタ No.613 ダートインパクトテスタ
(デジタル式)

型式 FT-M

型式 FT-DG

型式 DI-1



2025.6

材料試験機の総合メーカー

 株式会社 東洋精機 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173
大阪支店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-14-35(中央社ビル) TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438
名古屋支店 〒461-0003 名古屋市東区筒井3-30-12(森ビル別館) TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

<https://www.toyoseiki.co.jp>

●記載内容は改良のため変更することがあります。